

# 広聴広報特別委員会 調査結果報告書

調査期間 令和元年10月～令和5年6月

(別紙)

## 広聴広報特別委員会調査結果報告

1 付託調査事件 市議会だよりの編集発行、ICTを活用した議会情報の発信及び議会報告会の企画運営等、議会の広聴広報全般に係る諸調査について

2 委員会構成 委員長 大坂 俊 副委員長 及川 修一  
委員 木村 聡、松田 修一、大和田 加代子  
小澤 睦子、伊藤 勇一、中野 貴徳  
蒲生 哲、伊勢 純、鷗浦 昌也  
佐々木 一義、菅野 広紀、大坪 涼子  
藤倉 泰治、伊藤 明彦  
(議長 福田 利喜)

### 3 調査概要

#### (1) 調査活動の経過

##### ア 広聴小委員会

年月	調査内容等
令和元年 10月	正副小委員長の互選について 令和元年第2回議会報告会の開催について 令和元年第2回議会報告会の開催について
11月	令和元年第2回議会報告会に係る資料について 令和元年第2回議会報告会に係る資料について 建設業協会との議会報告会における役割分担について 令和元年第2回議会報告会における意見の取りまとめについて
令和2年 2月	令和2年第1回議会報告会について 令和2年第1回議会報告会について
3月	令和2年第1回議会報告会について
4月	令和2年第1回議会報告会について
6月	令和2年第1回議会報告会について インターネット会議検討チームについて
7月	令和2年議会報告会について
8月	建設業協会との議会報告会に係る資料について
9月	令和2年議会報告会の開催について 令和2年議会報告会の資料について
11月	議会報告会における各種要望等の取りまとめについて 議会報告会における各種要望等の申入れについて

年 月	調査内容等
令和3年 2月	令和3年議会報告会について 令和3年議会報告会について
3月	オンライン議会報告会について
4月	令和3年議会報告会について
6月	オンライン議会報告会の意見の集約と今後の進め方について
9月	広聴小委員会調査中間報告について 令和3年第2回議会報告会の開催について
11月	議会報告会について
令和4年 1月	議会報告会について
2月	令和3年度議会報告会における意見の取りまとめについて 令和4年度議会報告会について
3月	令和4年議会報告会について
6月	議会報告会について
8月	議会報告会について
9月	議会報告会について 議会報告会に係る資料について
11月	議会報告会のまとめについて 議会報告会のまとめについて 議会報告会のまとめについて
令和5年 1月	議会報告会について
2月	議会報告会について
3月	議会報告会について
4月	議会報告会における意見の取りまとめについて
5月	副小委員長の互選について
6月	広聴小委員会調査結果報告について

#### イ 広報小委員会

年 月	調査内容等
令和元年 10月	正副小委員長の互選について 市議会だよりの編集発行の進め方について 市議会だより第110号の発行について 市議会だより表紙写真のテーマについて
11月	市議会だより第110号の発行について 市議会だより第110号発行 市議会だより第110号発行後の検証について 市議会だより第111号の発行について
12月	市議会だより第111号の発行について
令和2年 1月	市議会だより第111号の発行について 市議会だより第111号発行

年 月	調査内容等
2月	市議会だより第111号発行後の検証について 市議会だより第112号の発行について
3月	市議会だより第112号の発行について
4月	市議会だより第112号の発行について 市議会だより第112号発行
5月	市議会だより第112号発行後の検証について
6月	市議会だより第113号の発行について
7月	市議会だより第113号の発行について
8月	市議会だより第113号発行 市議会だより第113号発行後の検証について
9月	市議会だより第114号の発行について 市議会だより第114号掲載予定の「追跡調査」に係る調査について ・平成27年請願第8号「陸前高田市立小友小学校の移転新設について」 採択後の当局における対応状況について
10月	市議会だより第114号の発行について 市議会だより第114号発行
11月	市議会だより第114号発行後の検証について 市議会だより第115号の発行について
12月	市議会だより第115号掲載予定の「追跡調査」に係る調査について ・平成28年請願第1号「東日本大震災津波による行方不明者の古川沼 及び広田湾の海底再捜索について」採択後の対応状況について 市議会だより第115号の発行について
令和3年 1月	市議会だより第115号の発行について 市議会だより第115号発行
2月	市議会だより第115号発行後の検証について 市議会だより第116号の発行について
3月	市議会だより第116号の発行について
4月	市議会だより第116号の発行について 市議会だより第116号発行
5月	市議会だより第116号発行後の検証について
6月	市議会だより第117号の発行について
7月	市議会だより第117号掲載予定の「追跡調査」に係る調査について ・旧グランパファーム跡地の有効活用について（令和元年第1回議会報 告会における要望項目） 市議会だより第117号の発行について 広報小委員会調査中間報告書について
8月	市議会だより第117号発行 市議会だより第117号発行後の検証について 広報小委員会調査中間報告書について
9月	広報小委員会調査中間報告書について 市議会だより第118号の発行について

年 月	調査内容等
10月	正副小委員長の互選について 市議会だよりの編集発行の進め方について 市議会だより第118号の発行について 市議会だより表紙写真のテーマについて
11月	市議会だより第118号の発行について 市議会だより第118号発行 市議会だより第118号発行後の検証について 市議会だより第119号の発行について 市議会だより第119号掲載予定の「追跡調査」に係る調査について ・平成28年第2回議会報告会で出された「防災無線の難聴地区の解消及び的確な情報伝達手法の検討」についての当局における対応状況について
12月	市議会だより第119号の発行について
令和4年 1月	市議会だより第119号の発行について 市議会だより第119号発行
2月	市議会だより第119号発行後の検証について 市議会だより第120号の発行について
3月	市議会だより第120号の発行について
4月	市議会だより第120号の発行について 市議会だより第120号発行
5月	市議会だより第120号発行後の検証について 有限会社第一印刷との意見交換について
6月	市議会だより第121号の発行について
7月	市議会だより第121号の発行について
8月	市議会だより第121号発行 市議会だより第121号発行後の検証について
9月	市議会だより第122号の発行について
10月	市議会だより第122号の発行について 市議会だより第122号発行
11月	市議会だより第122号発行後の検証について 市議会だより第123号の発行について
12月	市議会だより第123号の発行について
令和5年 1月	市議会だより第123号の発行について 市議会だより第123号発行
2月	市議会だより第123号発行後の検証について 市議会だより第124号の発行について
3月	市議会だより第124号の発行について 市議会だより第124号掲載予定の「市議会へようこそ」について ・県立高田高等学校の生徒が、企業訪問として市議会広報小委員会の広報作業を見学・体験。
4月	市議会だより第124号の発行について 市議会だより第124号発行

年 月	調査内容等
5月	市議会だより第124号発行後の検証について
6月	市議会だより第125号の発行について

## (2) 付託事件調査の概要

本委員会は、令和元年第3回定例会において議長を除く議員17名をもって設置され、委員長に大坂俊委員、副委員長に及川修一委員をそれぞれ互選するとともに、本委員会内に、議会報告会の企画運営、ICTを活用した議会情報の発信等、議会の広聴に関する諸調査を行う広聴小委員会及び市議会だよりの編集発行等、議会の広報に関する諸調査を行う広報小委員会を設置し、あわせて、正副委員長及び理事4名（各小委員会の小委員長の職にある委員）で構成する理事会を設置した。また、付託調査事件である「市議会だよりの編集発行、ICTを活用した議会情報の発信及び議会報告会の企画運営等、議会の広聴広報全般に係る諸調査について」を調査議題とし、任期中の継続調査事件として議長に対し、申し出を行った。

あわせて、平成29年第3回定例会において設置された議会広聴広報特別委員会調査結果報告を基に、議会報告会の開催手法の検討、市議会だよりの編集機能の強化やICTを活用した議会の情報発信等の更なる充実強化を図るための取り組みに係る調査課題を継承するとともに、各小委員会において議会の広聴広報全般に係る調査を実施した。

この間、本委員会においても、各小委員会からの報告を受け、付託事件調査を行った。議会報告会で市民から寄せられた提言等を市政に反映させるため、議長に報告した上で市長へ申し入れを行った。また、定例会及び臨時会における審議状況や一般質問の内容を市議会だよりに掲載するなど、わかりやすい情報の発信に努めた。

## (3) 主な調査内容及び調査結果

### ア 広聴小委員会

陸前高田市議会基本条例に基づき、下記一覧のとおり議会報告会を開催した。

また、新型コロナウイルスの影響に伴い、各地区での議会報告会の開催が困難なことから、令和3年5月にYouTubeを活用し、オンライン議会報告会（視聴回

数409回、令和3年8月31日時点)を配信した。

議会報告会時に住民からいただいた意見・提言・要望等を委員会内で調査・研究し、市当局へ申し入れする項目、特別委員会及び常任委員会で調査する項目に分類・精査するとともに、その都度、委員長に対して報告をした。

【議会報告会一覧】

日時	テーマ	対象団体	参加人数
R1. 11. 12	・戻ってきたいまち、住み続けたいまちにするには何が必要か	県立高田高校3年生	69人
R1. 11. 22	これまでの復興の歩みと復興期間終了後における課題	市建設業協会	13人
R2. 8. 20	・復興期間終了後の市発注工事の見通しと新しい公共施設の維持管理 ・国際リニアコライダー（ILC）誘致に係る動き ・8月3日実施の対県要望	市建設業協会	12人
R2. 10. 22	・令和元年の決算の概要 ・新型コロナウイルス感染症に係る支援策 ・新型コロナウイルスに係る議会の活動 ・市政及び各団体における課題	広田湾漁協青年部	7人
R2. 10. 27		市PTA連合会	15人
R2. 10. 28		市交通指導隊	5人
R2. 11. 10		市観光物産協会	3人
R2. 11. 11		市森林組合	7人
R4. 1. 31	・東日本大震災以降の各年度の決算状況について	陸前高田商工会	8人
R4. 2. 1	・新型コロナウイルス感染症に係る市の取組一覧について	市建設業協会	16人
R4. 10. 11	・令和3年度決算について ・議員定数、報酬及び政務活動費について	米崎地区	12人
R4. 10. 12		小友地区	20人
		広田地区	21人
R4. 10. 17		今泉地区	10人
		長部地区	13人
R4. 10. 18		高田地区	21人
		横田地区	13人
		竹駒地区	20人
		生出地区	12人
R5. 3. 27	矢作地区	8人	
	下矢作地区	20人	
R5. 3. 27	・東日本大震災以降の各年度の予算決算状況及び令和5年度予算について ・事前質問事項への回答	市建設業協会	18人
合 計			343人

## イ 広報小委員会

市議会だより（第110号～第125号）の編集、校正作業等（計97回）を行った。

発行は議員手づくりを基本として取り組み、概ね20ページで年4回、計8回発行し、区長文書として市内全戸へ配布したほか、市外避難世帯には政策推進室等を通じて配布した。

市議会だよりの内容は、定例会と臨時会での議案の審議結果、議員個々の一般質問、3常任委員会の所管事務調査や管外行政視察、復興対策特別委員会の所管事務調査、議会報告会の開催結果と市長からの回答などとした。

このほか、議長からの諮問に応じて議員定数や報酬を協議する諸課題調査検討委員会での結果も取り上げた。議会報告会などで市民から寄せられた意見や要望についての「追跡調査」は、市当局担当者から広報小委員会の委員全員で内容を聞き取りし適宜特集した。

さらに、市民とコミュニケーションを図るため、さまざまな分野で活躍している個人を取材して紹介する『がんばっています』を掲載。高田高校生8人が広報小委員会の編集作業を体験し、議場見学を行った様子を写真グラフで紹介したほか、本市と姉妹都市関係にある米国のクレセントシティ市一行が来訪した際に交流した様子も取り上げた。

## (4) 今後の課題について

### ア 広聴小委員会

この4年間においては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、これまでと同様の議会報告会を開催することができなかった。

高田高校の生徒とは1回、市建設業協会とは4回、各団体（広田湾漁協青年部、市PTA連合会、市交通指導隊、市観光物産協会、市森林組合）と1回、市内11地区とは各1回の開催実績となった。

高田高校の生徒との議会報告会は新型コロナウイルス感染症の影響により1回だけの開催となったが、議員も高校生もグループ分けしながら率直な意見交換が行われ議会としても貴重な場であった。その再開が待たれる。

市建設業協会との議会報告会は毎年開催され、懇談テーマや内容についても充実してきたと思う。

今後は市内 11 地区での開催について、各地区コミュニティ推進協議会との協議によりテーマの充実や参加者の増加対策など考えていくべきと考える。

#### イ 広報小委員会

これまで表紙は「まちの復興」をテーマに被災地の上空写真を掲載してきたが、今後は市内全域の名所や旧跡にスポットを当てたり、人物を取り上げるなど、事前に広報小委員会で協議して委員自ら撮影することが望ましい。

見出しや記事は難しい言葉を避け、写真やイラストなどを適宜配置し、読みやすく、親しみやすい紙面づくりが必要である。特に、専門用語の記載については注意すべき。

今後も IT 化やグローバル化が進むことが予想され、カタカナ語やアルファベット表記が増えていくと思われる。そこで、その言葉の意味を分かりやすく、市民に理解されるような表記方法を委員会内で協議し、その結果を全議員が共有するような手立てが必要と思われる。

現在、広報小委員会の作業は原稿の校正が主なものとなっているが、いずれは委員会独自のパソコンと編集が可能なソフトを導入し、委員自ら全ページの編集を手掛けるようにすべきと考える。その上で、印刷のみ外注することを検討すべき。

校正やレイアウトなど、編集作業全般についての研修が必要であり、先進地視察などを行いながら改善していくことが必要と思われる。

#### 4 次期への申し送り事項

市内 11 地区の議会報告会の定着と継続が必要と考える。また、建設業協会と継続的に開催するとともに、市内の各種団体との継続的な議会報告会開催も検討すべきと思う。

また、高田高校の生徒との議会報告の再開も必要と考える。

議会報告会開催で寄せられた意見については、意見を精査し、市長に申し入れを行ってきたが、今後も継続が望まれる。

今後の市議会だよりの発行に当たっては、上記の調査結果等を踏まえ、より一層市民に親しまれる紙面づくりを期待する。その一環として、市広報のように全ページのカラー化を検討してほしい。

原稿の校正や編集作業に当たるためには、更なる研修が必要であり、他市町村の議会から学ぶ機会を設けたり、勉強会を開きながら研鑽を積んでほしい。

第124号で高田高校の生徒が広報小委員会の編集作業を体験し、議場見学した様子を多くの写真を掲載して紹介した。今後は高校生だけでなく、市内の各種団体を議場に招くなどしながら議会活動を広く理解してもらうことにも取り組んでほしい。